



学習編

- 1、学習活動について
- 2、板書について
- 3、学習の約束
- 4、家庭学習（自主勉）について
- 5、ビジョントレーニングについて
- 6、感覚統合トレーニングについて
- 7、朝の読書タイムの取り組みについて
- 8、算数科・単位についての系統性
- 9、1・2年生活科、3年社会・理科・総合のすみわけ

1、学習活動について

★知を獲得した子どもを育むために大切にしたい4つの学習活動

課題をつかむ

○子どもが意欲的に取り組むためには、学習課題を「自分の問題」として捉える必要があります。子どもの興味・関心・意欲につながる要素を含んでいることが重要です。

例えば…

- ・自分たちに関わる事、自分事として捉えられる課題
- ・子どもの思考を揺さぶる課題設定
- ・知りたい、気になると思うような課題設定
- ・日常生活に基づいた身近な課題設定

自力解決

○子どもが問題を解く時間ではありません。この時間は、本時の学習課題の解決方法や、基礎的・基本的な知識技能を活用する思考力・判断力を獲得するための時間です。

自力解決のために…

- ・考える時間を明確にする（タイマーなどで区切る）
- ・多様な考えの表現方法を認める雰囲気を作る
- ・一人ひとりが自信を持てるような、机間指導での助言や評価をする
- ・子どもの頑張りや思考の過程を評価する

学び合い

○考えをつなぎ、深めるためには授業の中で学び合いをする意味や目的をはっきりと持ち、場面に応じて使い分けることができる必要があります。

- ・尊重型
- ・順位型
- ・分類型
- ・集約型

※詳細は算面の授業の基本参照

※声かけや一緒に参加するなど、どの子も参加できる工夫が大切です。

まとめ・ふり返し

○子どもが、自らの言葉で学習内容をまとめることは、学習内容の理解を深め、定着させる上で極めて有効です。

○また、学んだ筋道や考え方を振り返ることによって、子どものメタ認知能力が向上し、次の学習活動において、よりよく問題解決を行うことができますようになります。

- ・まとめ…学習課題と対応させて、まとめさせる。

⇒学習課題を疑問形にしておく子どもも答えやすいです。

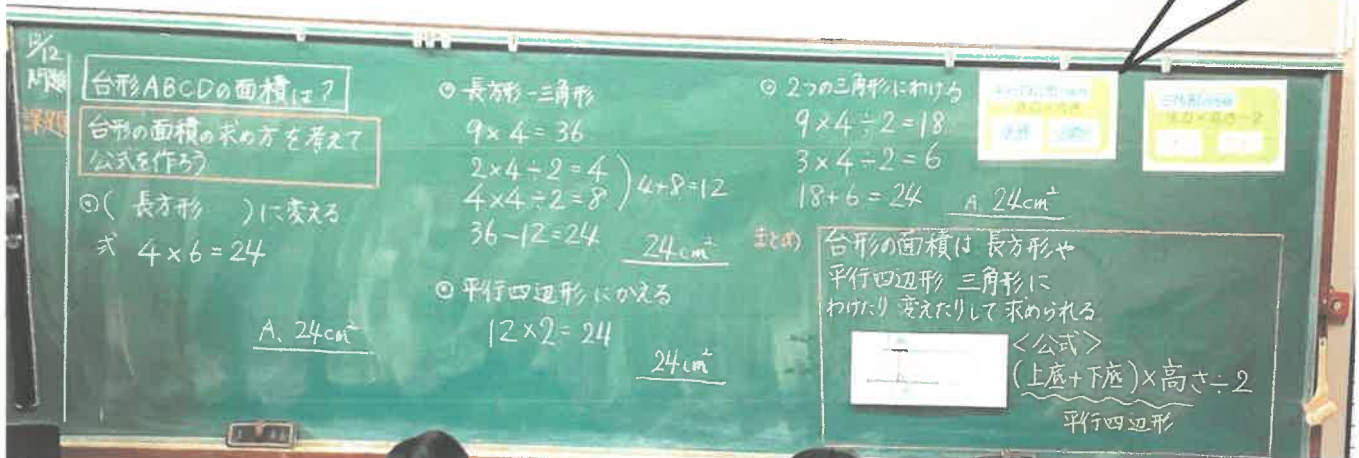
ふり返し…その時間の学習で、何を学んだか、どんな力がついたか、学習に対してどう思ったかをふり返らせることが大切です。

2、板書について

子どもにとって見やすい・わかりやすい板書を目指す。

① 資料の活用、授業の流れが見える構造的な板書

資料の活用



②板書と子どものノートが対応するように心がける。



★「めあて」「課題」「まとめ」の文は回りを黄色（赤）で囲む

★ノートにもプリントにも黒板にも日付を書く。

★重要・大事な言葉などは赤で書いたり、黄線（赤線）を引く

授業カードを
活用しましょう！！



○授業での発言について

- ・休み時間と授業で、言葉を使い分けよう。
- ・手を挙げて、指名されたら「はい」と返事して、語尾「～です。」「～と思います。」まで話そう。

○学習具について

- ・机上に必要なものだけ置こう。(筆箱は出さない。)
- ・下敷き、定規を使おう。
- ・次の授業の準備をして、休み時間をとろう。



○ノートについて

- ・「めあて」「課題」「まとめ」の文字は赤（黄）で書こう。
- ・「めあて」「課題」「まとめ」の文の周りを定規を使って赤（黄）で囲もう。

3、学習の約束

だれもが安心して学習に向かえるように以下のような学習規律を提案します。テーマは「シンプル」。大切なのは「守らせること」が目的ではなく、「こうすると集中できた！」と子どもたちが実感することです。できている人をほめていくこと、学習成果と繋げていくことで、学級全体に広めていきたいところです。

○時間について

- ・チャイムを守ろう。

○あいさつについて

- ・学習に向かうスイッチを入れよう

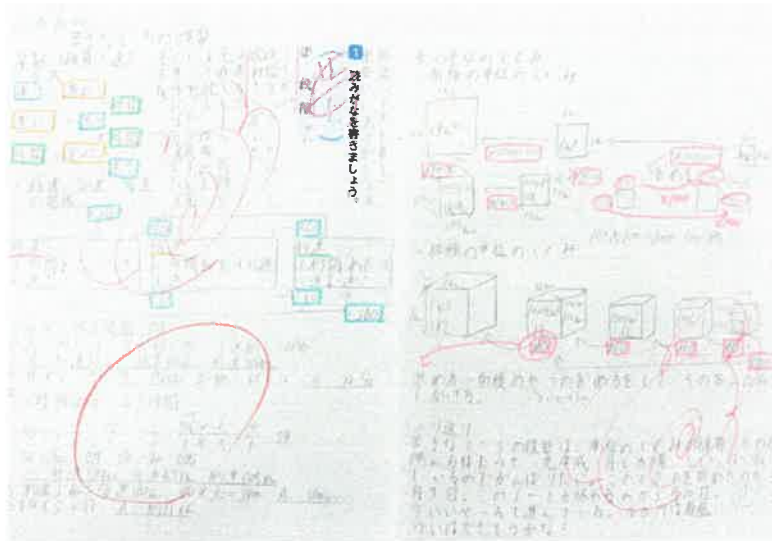
- ・始まり 日直「姿勢。」 → 確認（3秒） → 日直「礼。」
みんな「はい！」 みんな「お願いします。」



- ・終わり 日直「姿勢。」 → 確認（3秒） → 日直「礼。」
みんな「はい！」 みんな「ありがとうございました。」

4、家庭学習（自主勉について）

- ・ 1～3年生は、可能な児童に自主学習（音読、計算、漢字）に取り組めるように声掛けをする。
- ・ 4年生以上は自主学習の定着のために、休み前には自主学習を宿題にする。
- ・ ノートの使い方、自主学習で取り組むと良いことなどを子どもに教える時間を取る。
- ・ 1, 2年宿題+10分程度、3, 4年生宿題+20分程度、5, 6年生宿題+30分程度の自主学習に取り組めることを目指す。



ノートは基本的に
みっちり使い切るように
しましょう

※例 自主学習で取り組むと良いこと

21	国	日記（わたしは、ぼう然としたスタート）	73	算	いろいろな作図をしよう。
22	国	間違い直し（漢字練習）	74	算	今までのノートをまとめて復習しよう。
23	国	間違いやすい漢字特訓	75	算	オリジナル計算の問題を作ってみよう。
24	国	漢字の成り立ち調べ	76	社	各県の特徴まとめ（地図帳）
25	国	新聞作り（ノート1ページにまとめてみよう）	77	社	5年生のふく習（教科書を1ページまとめる）
26	国	新聞レポート（新聞記事の紹介）	78	社	歴史についてまとめよう。（各時代）
27	国	読書感想文	79	社	歴史についてまとめよう。（人物）
28	国	とことん漢字（150文字）	80	社	日本について調べよう（教科書・地図帳からまとめる）



★自主勉強の取り組みを評価すると子どもの
意欲が高まります。

廊下に掲示

自主勉タワー



5、ビジョントレーニングについて

○ビジョントレーニングとは

眼を動かすだけの簡単な短時間のトレーニングで、読み書きや運動能力が向上する。

眼を動かすことで、脳の前頭葉が活発に働く。

（前頭葉とは、考えたり身体を動かすための指令を出す脳全体の最高司令官。

前頭葉と眼は密接な関係にあるため、眼を鍛えれば脳の力もアップするという。）

○ねらい

- ・クラス全体の集中力を高める。
- ・見る力、空間認知力が高くなり、字がきれいになったり、板書がスムーズになったり、本が早く読めるようになり、学習意欲が向上する。

○内容

- ・全校一斉に月・木曜日の8時半から3分間、「ビューティフルネーム」の曲に合わせてビジョントレーニングを行う。（2回くりかえして3分間）

月曜日：ビジョンの後、読書タイム

木曜日：ビジョンの後、朝学タイム

※学年の実態に合わせて、毎日することも可。

○やり方

- ・8時半から全校一斉放送で「ビューティフルネーム」の曲を流す。（放送委員会）
 - ・慣れるまでは電子黒板もつけて、映像を見ながら行う。慣れてきたら、電子黒板はなしにする。
- （自分の指を見ないで、電子黒板を見てしまう子がいるため。）

○アセスメント

- ・「ビューティフルネーム」の曲以外のビジョントレーニング用の教材（電子黒板の先生フォルダ内）やプリント教材なども活用する。

○見る力が弱い子どもへの合理的配慮

（例）・板書しやすい座席の工夫

- ・板書の量の調節

（課題とまとめだけ書く、課題とまとめを音読し、練習問題のみにするなど）

- ・漢字の宿題では書く量を減らしたり、ノートのマス目を大きくする。
- ・ヒントありの漢字小テストにする。などなど

6. 感覚統合トレーニングについて

○感覚統合とは

五感（視覚・聴覚・味覚・触覚・嗅覚）＋固有感覚＋前庭感覚

固有感覚・・・手足の状態、筋肉の伸び縮みや関節の動きを感じる感覚

前庭感覚・・・身体の動きや傾き、スピードを感じる感覚

○ビジョントレーニングとのコラボレーション

本校で積極的に行われている「ビジョントレーニング」は、眼球運動に特化したトレーニングであり、感覚統合トレーニングと合わせて取り組むことで、さらに有意義なものになる。

○具体的な「場」の説明

※より有効なものとなるように、子どもたちにも「ねらい」「方法」「注意点」を説明してあげてください。

ケンパーとび

ねらい 視覚＋固有感覚 <速バージョン>

方法 黄色ラインのますは、パー（またはケン）と決めて、ケンパーとびをする。

注意点 黄色ラインをしっかりと見て判断する。

かにジャンプ

ねらい 固有感覚＋前庭感覚＋視覚（＋聴覚） <左右バージョン>

方法 両足同時にラインをまたいで横ジャンプ移動。色が変わったら、くるっと前後を変える。（合図で、くるっと前後を変える。）

注意点 移動方向が変わっても同じテンポで進む。

ピタッとまりラダー

ねらい 固有感覚＋前庭感覚＋視覚 <前後バージョン>

方法 ラダートレーニングと同じイメージで進む。最後のますできれいにピタッと止まる。

注意点 両足がきれいにますの中に入るように気を付ける。

クロスウォーク

ねらい 視覚＋固有感覚<遅・足バージョン>

方法 一本ラインを踏まないよう足をクロスしながら歩く。ラインの色で前向き後ろ向きを変える。

注意点 体がぶれないように気を付ける。

飛び石クライミング

ねらい 視覚＋固有感覚 <遅・足バージョン・手足バージョン>

方法 ①決めた色だけを踏んで移動する。

②決めた色だけを踏んで手と足で移動する。（ボルタリングの平地バージョン）

注意点 ①は一色、②は手と足で色を変えても良い。

7、朝の読書タイムの取り組みについて

○実施日時

- ・毎週月曜日 ビジョントレーニング終了後から
8:45 まで



○実施にあたっての留意点

- ・読む本の種類を絵本や読み物中心とする。
漫画・雑誌・ゲームの攻略本・写真や図の多い図鑑類以外のもの。
- ・担任も一緒に読書をする。

“朝読”から読書習慣の定着へ

- ・朝読は「担任も一緒」が大事なポイントです。まず大人が読む姿を見せることが、子どもたちを読書に向かわせます。
- ・朝読時、低学年は一人読みではなく、担任等の読み聞かせでもよいでしょう。
- ・読書が苦手な児童には、朝読の15分と図書の時間で、無理せず1週間に1冊読みきれるぐらいの内容やページ数の本を、担任や司書からすすめてもよいでしょう。
- ・読書の記録をつけることで、「読んだ」という自覚が生まれ、読書に対する自信や達成感を育みます。

<読書記録活用例>

連絡帳に貼る、定期的に担任が見てハンコを押す、カードが埋まれば特別貸出券がもらえる等。

- ・朝読の他に“隙間の時間”を活用し、読書の習慣化を目指します。

<隙間の時間例>

給食準備・片づけ中、連絡帳記入中、自習時等の課題終了後、テスト終了後等。

- ・図書館を使った授業（図書の時間）で行う読書については、教師からの指導（声かけ）が読書へ向かう有効なきっかけとなります。

<指導（声かけ）例>

全員着席で読書をする時間を決める、複数冊借りる場合は物語（9類）の本を1冊は選ばせる、担任のおすすめの本を紹介する等。

- ・子どもにすすめる本の選書や、本のあるクラス作り等では学校司書を活用しましょう。

“読める”ことは、学力のみならず、日々の生活の中で大きな力になります。

読書へのきっかけ作りとして、まずは朝読を活用しましょう。

◎筆算の線は、ものさしを使う。

◎筆算の計算の補助数字等の書き方は、基本的に教科書に載っている方法で書く。

★上記のことは、豊北スタンダードに載せる。

★上記のことは、毎年検証し、3学期に総括をする。

8、算数科 単位についての系統性

●筆算等の補助数字

2年 繰り上がり

$$\begin{array}{r} \overset{1}{3}5 \\ + 29 \\ \hline 4 \end{array}$$

繰り下がり

$$\begin{array}{r} \overset{3}{4}7 \\ - 18 \\ \hline \end{array}$$

3年 繰り下がり

$$\begin{array}{r} \overset{9}{10} \overset{9}{10} \\ 1000 \\ - 265 \\ \hline \end{array}$$

小数たし算ひき算

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ + 2.8 \\ \hline 4.0 \end{array}$$

3年 かけ算

$$\begin{array}{r} 16 \\ \times 4 \\ \hline 24 \end{array}$$

4年 小数たし算ひき算

$$\begin{array}{r} 0.574 \\ + 0.226 \\ \hline 0.800 \end{array}$$

わり算

$$\begin{array}{r} 48 \\ 500 \overline{)24000} \\ \underline{20} \\ 40 \\ \underline{40} \\ 0 \end{array}$$

小数かけ算

$$\begin{array}{r} 0.8 \\ \times 5 \\ \hline 4.0 \end{array}$$

5年 小数わり算

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 6.3 \overline{)7.56} \\ \underline{6.3} \\ 126 \\ \underline{126} \\ 0 \end{array}$$

6年 約分

$$\begin{aligned} \frac{5}{18} \times 3 &= \frac{5 \times \overset{1}{3}}{\underset{6}{18}} \\ &= \frac{5}{6} \end{aligned}$$

●確認事項

◎文章問題の式には、単位をつける。

- ・1～2年のたしひきの立式に関しては、つけない時があってもよい。
- ・かけわりは「1めたり」「いくつ分」「全部の数」を意識できるよう、式に単位をつける。
(テストで単位を間違えた場合、減点しないが指導はする。学年で話し合って統一する。)
- ・求積(面積・体積)は式に単位を書かず、A. にのみつける。
- ・単位換算の場合は、単位を必ずつける。

9. 豊川北小1, 2年生活科、3年社会・理科・総合のすみわけ

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	学校たんけん、学校の先生にインタビュー 通学路の安全(見守り下校)、 学校の安全(避難訓練) 校庭たんけん、アサガオ、サツマイモ、ジャガイモ 水であそぼう(水でっぽう、砂場、色水、シャボン玉)、 草花や虫をさがそう	いきものとなかよし スイートポテト作り、秋見つけ、校区を歩こう、 公園たんけん 作ろう遊ぼう(実、落ち葉) 自分でできること(家の手伝い) チューリップ、冬野菜(ソラマメ、キャベツ、ニンジン) おもちゃ作り(ゴム、空気、重り、磁石) おもちやフェスタ(1 年招待) コマサ(水栽培)・ダイコン・カブ・ブロッコリー・キャベツ・菜の花、エンド ウなど 町探検：田んぼ、自然、神社、寺、サツマイモ畑(地域の人の) 畑収穫、法泉寺(保育所、幼) 訪問	昔遊び(コマ、あやとり、かるた、けん玉 等)、冬をさがそう(雪、氷、霜柱、冬芽、越 冬)、そとであそぼう(タコ、風車)、 新1年生を迎える準備、春みつけ、 1年間をふりかえろう(できるようになっ たこと発表会)
2 年	1年生を迎えよう(学校探検)春をさがそう(校内) イチゴ収穫、ミニトマト(個人)ピーマン・ナス・キュウリトマト(花壇:苗植え) 町探検「みんなですべて使う施設」図書館<学年>公民館<3つ に分かれて訪問?>公園(東山南公園・堂ノ前公園・田 んぼ・自然・町の安全・寺・神社?<探検・個人発表> 生き物仲良し:ザリガニ、ヤゴ(プール)、オタマ、カゲムシ、チョウ、ゼミ、 ダンゴムシ、カブトムシ		冬のくらし(行事)、大根もち、大根菜飯、 みそ汁 昔遊び、あしたへジャンプ(発表会)
3 年	社会:町探検(東西南北、地図、地図記号) 理科:植物(ヒマワリ、ホウセンカ、綿、ピーマン、大豆、 オクラ 種から育てる)、昆虫(モンシロチョウ、ヤゴ、 カブトムシ、クワガタムシ)、音の実験	社会:地域のお店調べ学習(スーパー見学、個人店、大 型店、双葉産業等)、買い物調べ、箕面市の特産品 ジャガイモ掘り、サツマイモ掘り 校外学習:明治工場、中央市場、止々呂美栗ひろい等 理科:太陽の光の実験、風やゴムの実験、電気の実験	校外学習:郷土資料館(昔の道具、箕面の 民話)、昆虫館 昔遊び、校区探検、校区地図作り、来年の 3年生のためにキャベツを育て始める。 理科:磁石の実験、重さの実験

※1年から2年:植木鉢と支柱(アサガオ)

※2年から3年:キャベツやブロッコリーなどモンシロチョウの幼虫の付く野菜を植えてその花壇を持ちあがると夏野菜の連作も防げてよい。

※2019年度と2020年度の3年は昆虫館と郷土資料館に行けていない。

※サツマイモ:1年生は花壇で、2年生と3年生は地域のサツマイモ畑へ。

※町探検 1年:公園たんけん、秋みつけ(虫、木の実探し)、校区歩き、冬みつけ、春みつけ2年:地域の公園調べ、図書館、神社、寺、郵便局

3年:地域のお店、畑、工場、地域のお祭り、校区のすてきなところみつけ、地図作り、地図記号、スーパー見学、消防署見学